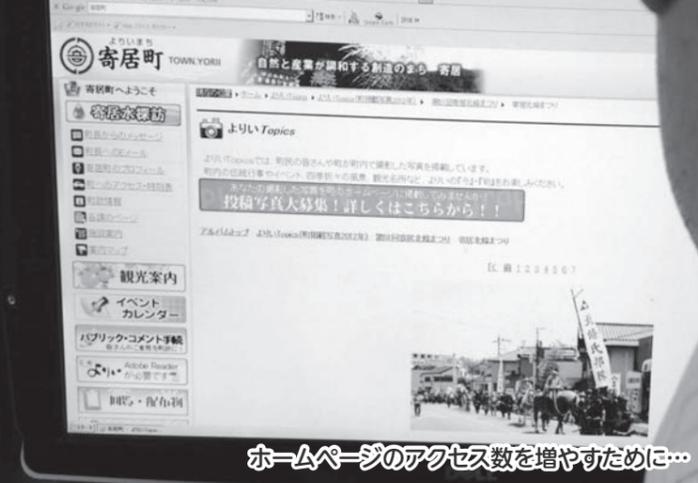




子どもたちがずっと笑顔でいられるように(イメージ写真)



ホームページのアクセス数を増やすために...

町のホームページ、アクセス状況は

答弁⇒ 23年度は14万件で、一日平均約380件です

鈴木詠子 議員

子ども・子育て新システム、子どもを守れるか

答弁⇒ 保育の必要性のある子どもは守れます

田母神節子 議員

ホームページ 人にやさしい町

問 今や自治体の顔ともいえる町のHP(ホームページ)は、町民の皆様さまにさまざまな情報を提供し、防災や観光の情報発信のツールとしても重要な役割を担っています。そこで町のHPのアクセス状況について伺います。

答 現在の町のHPは平成19年に開設しました。23年度のアクセス数は14万件で、一日平均では約380件です。

問 アクセス数は、そのまま町の人気度ををはかる目安ともなります。さらに寄居町を身近に感じていただくための動画配信について、考えを伺います。

答 現在もいくつか動画を配信していますが、今後、必要に応じて配信していきます。

問 「町のHPから小中学校へのリンク」との声があります。対応について伺います。

答 5月に最後の1校のHPが開設したことにより、町のHPから全小中学校へのリンクを設定しました。

ソーシャルメディアの利活用は

問 埼玉県は5月から、Facebook(フェイスブック)とTwitter(ツイッター)の2つのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を開設しました。町として防災や観光のさらなる補完強化のためのソーシャルメディアの利活用の考えがあるのか伺います。

答 メリット、デメリットの両面を幅広く調査研究しながら、今後の活用に向け、検討していきます。

問 第5次寄居町総合振興計画・後期基本計画の基本目標②には「安らぎとあたたかなふれあい育むまち」が掲げられています。

「子ども・子育て・新システム」では、①公的責任の解消により、保育に欠ける子ども・親を守ることができるか。②発達は保障されるか。③親は安心して働くことができるか。④保育士の仕事は守れるか。⑤この制度と就学前の保育・教育について、町はどう考えているか伺います。

答 以下のように考えます。①申請により保育の必要性を認定、その後保護者が選択して契約するので可能。②③新たな保育要領を策定することで保障される。保育料も現行の利用者負担をもとに区分される。④保育園、幼稚園から総合こども園へ円滑に移行し、配置基準から資格を持つ保育士が減ることはない。⑤新システムに対してさまざまな見解があり、国の動向を見守りたい。幼児期の保育教育は、人格形成の基礎を培う上で重要。

介護保険の充実について

問 ①高い保険料、利用料負担はどうか。②在宅介護者への支援策を。③介護予防の普及と要支援者への手立ては。④介護従事者の待遇は。⑤介護従事者と地域包括支援センターの体制と役割について伺います。

答 ①今回の改定も運営上最低限のものとなっています。②リフレッシュ機会の創出に努めています。補助制度は考えていません。③「いきいき元気塾」の創設等です。④個々の契約によります。⑤支援センター業務を集約し、効果的な運営が可能な体制になっています。

☑ ソーシャルメディア…インターネットなどのネットワーク上で、ユーザー同士が情報を交換(送受信)することによって成り立っているメディア。「1対多」「多対多」の双方向で、ユーザー間のコミュニケーションを主要価値として提供されるサービス。

平成25年の稼働目指し、工事進む

寄居新工場は、平成25年の稼働を目指して工事が進められています。建築工事は終了し、設備の設置などを進めていることから、定例会最終日の6月21日に



ホンダ工場支援委員会を開催し、寄居新工場の視察をしました。工場の塗装棟、プレス溶接棟、組立検査棟など工場内の主要施設をめぐり、厚生棟(食堂周辺)では1200人が食事できるという食堂を見学しました。今後も、委員会では機会をとらえ、引き続きホンダ工場の支援を行うこととしています。

議員全員で視察しました
ホンダ工場支援委員会

第5期介護保険事業計画などを策定

寄居町と熊谷・深谷両市で構成される大里広域市町村圏組合は、可燃物処理・不燃物処理・介護保険の3事業を実施しています。この組合議会に寄居町議会からは大久保博幸議員と田母神節子議員が選出されています。6月定例会では、大久保議員から平成23年度事業の概要報告がありました。

可燃ごみ約12万トン、不燃ごみ約1万1500トンの処理を行い、介護保険事業では、認定審査会を542回開催し、1万件余の審査を実施。寄居町の負担金は、一般会計で3億9190万6000円。介護保険特別会計は3億5554万3000円となっています。

平成23年度は、「ごみ処理関係では「ごみ処理施設長寿命化計画」を作成。介護保険では、平成24年度〜平成26年度の「第5期介護保険事業計画」を策定しました。

選出議員による23年度事業概要の報告
大里広域市町村圏組合

ぎかい活動レポート

2年ぶりの社会福祉大会
議員も参加しています



子どもたちからの花束贈呈も

5月26日に中央公民館で第29回寄居町社会福祉大会が開催されました。町内90歳以上の方(409名)のうち45名が出席。皆様から激励を受けた後、子どもたちから花束が贈呈され、なんともほほえましいひとコマでした。

寄居町社協活動30年の活動報告や長年にわたり社会福祉事業に貢献された方々への表彰、そして町内小学校6校の児童18名への児童福祉標語表彰もあわせて行われました。

最後に、「誰もが住んでよかったと思える、支え合えるまちづくり」に総力を挙げて取り組む大会宣言が行われ、フィナーレに寄居町のイメージソングである「ふるさと(はな)の町」を全員で合唱し、大会の幕を閉じました。

親しまれる紙面づくりを目指して
議会広報研修会に参加

有意義な研修となりました

5月11日、議会だより編集委員会委員5名が、さいたま市の県民健康センターで開催された埼玉県町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加しました。

当日は、「開かれた議会」と読まれ、親しまれ、役に立つ議会広報紙」をテーマに、埼玉県コミュニケーションセンターの芳野理事長から講義を受けました。全国コンクール入賞を果たした町村議会の広報紙のほか、当町の議会だよりも編集の好例として取り上げていただき、非常に有意義な研修となりました。

